

# 看護の楽しさ

Vol.5



先日、雨の中、ジブリパーク開園前のモリコロパークに行ってきました。写真は日本庭園の東屋からのものです。池の水面に雨の波紋が無数にあり、その様子を見ながら、ゆったりとした時間を過ごしました。私の今の毎日の仕事は、直接、患者さんに触れるようなことは滅多にありません。時折、廊下で困っていらっしゃったり、ラウンドの際にスタッフステーションにいらっしゃる患者さんと接するくらいです。それでも、関わった後に「あ～あの言葉かけは良かったかなあ」などと考えることもしばしばあります。看護は感情労働だと言われます。情緒的エネルギーを大量に消費し、そして不可視性が高く精神的に疲弊しても他者に気づかれにくい特徴があると思います。そのような特徴をもつ看護を実践する看護師がコロナ禍で更に疲弊していることは否めません。ですが、その中でも、患者さんとの関わりを続け、その笑顔を引き出すことができた時の喜びは変わらないものです。その人がその人らしく過ごせるように常に考え続ける、実践し続ける看護師たちが私の誇りです。

でも自分も大切にしてほしいとも思います。ですから、看護はやっぱり楽しい！と思える環境をつくることができるように私は頑張ります。

2022年11月 看護局長 宮原晴子